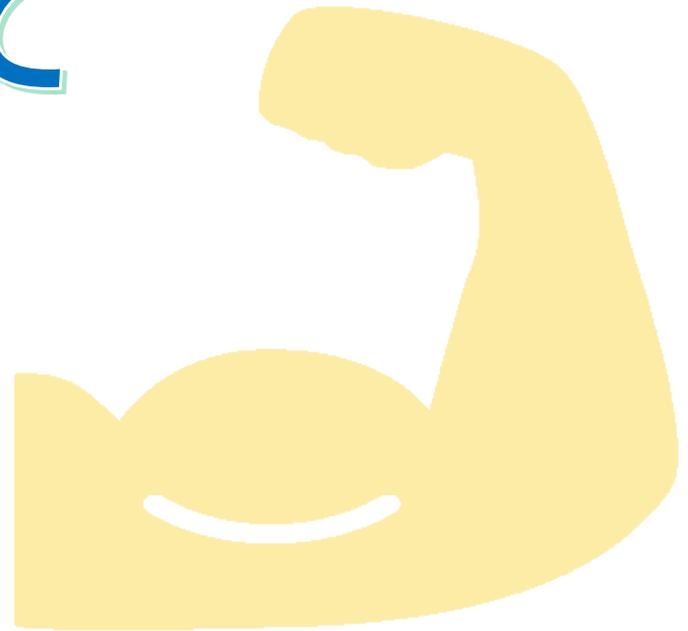


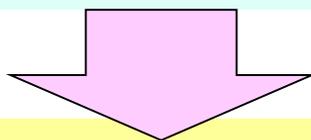


本物力こそ桑名力

がんばり“見える化” 予算について



市職員による創意工夫、新たな手法やアイデアによる取組によって得られた歳入の増入や、歳出削減の成果を評価し増収額または節減額の全部または一部をインセンティブとして、翌年度当初予算に還元するものです。



《目的》

- ① 社会環境が急速に変化する中、職員一人ひとりが、“変わる”“変える”意識をさらに持ち、ボトムアップ型の行政改革の取組を行うことを促進する。
- ② 歳入確保や歳出削減の取組や成果を「見える化」し、全庁的な横展開を図る。



がんばり“見える化”予算の対象となる取組



本物力こそ桑名力

《取組例》

- ・ 公民連携手法による歳入確保・歳出削減
- ・ 使用料、手数料等の増収または新たな収入の確保
- ・ 印刷物の数量や仕様の見直し
- ・ 委託業務の仕様や契約方法の見直し
- ・ 住民との協働など実施手法の見直し
- ・ 「一者随意契約の見直し」の取組



《対象とならない取組例》

- ・ 入札結果によるものなど、特段の創意工夫がないもの
- ・ 当初の目的や効果を達成できず、住民サービスを低下させたもの
- ・ 予算を過大または過少に見積もっていたと認められるもの
- ・ 法の改正、国・県の動向、外部環境の変化に伴うもの
- ・ その他、インセンティブ付与するにふさわしくないもの



★がんばり“見える化”予算（令和5年度予算反映）紹介！



本物力こそ桑名力

令和5年度当初予算反映分のがんばり“見える化”予算付与額は、令和4年度の歳入確保・歳出削減につながる事業の見直しの効果額に基づくものです。

単位(千円)

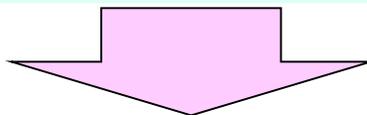
| がんばり内容 | 効果額 | 予算付与額 | 担当課 |
|-----------------------------------|-------|-------|----------------|
| 桑名市公共施設予約システムのリプレース | 3,115 | 2,492 | 生涯学習・スポーツ課 |
| マチコムアプリ利用による郵送代の削減など | 114 | 69 | 子ども総合相談センター |
| 特別会計からの繰出金に充てる国庫補助金の確保 | 1346 | 539 | 防災・危機管理課、介護高齢課 |
| 包括連携協定によるネーミングライツの導入 | 500 | 100 | 観光課 |
| 桑名市観光協会ホームページのリニューアルによる企画宣伝事業費の削減 | 725 | 290 | 観光課 |
| 民間事業者の屋外広告物を掲出し新たな財源確保 | 500 | 100 | 都市管理課 |
| パブリックセンターに寄付型自動販売機を設置し歳入を確保 | 68 | 14 | 生涯学習・スポーツ課 |
| ごみ分別表を公民連携広告事業により事業費0円で作成 | 1,479 | 296 | 環境対策課 |
| 有価物の売却による収入増 | 212 | 43 | 環境対策課 |
| パソコンをリースから購入へ切替 | 228 | 46 | 防災・危機管理課 |
| 災害備蓄品をカンパンからアルファ米へ切替 | 415 | 83 | 防災・危機管理課 |
| 合 計 | 8,702 | 4,072 | |

①桑名市公共施設予約システムのリプレース (生涯学習・スポーツ課)



本物力こそ桑名力

平成26年導入のシステムをカスタマイズを繰り返しながら使用してきており、コストが大きくなっていた。
標準的なシステムへ入れ替えるため、システム面だけでなく、運用面でも見直しを行い、コスト削減を図った。



《歳出削減効果額》

3,114,144円／年



ポイント

- ①ゼロベースで事業を見直す。
- ②必要とあらば、条例・様式を変更する。
- ③必要最低限を意識する。



様式を変える事は、大変でしたが、そのおかげで職員の認識も共有が図られ、メリットが色々ありました。

②特別会計からの繰出金に充てる 国庫補助金の確保



〔防災・危機管理課〕
介護高齢課



本物力こそ桑名力

高齢者特殊詐欺被害防止対策費及び高齢者運転免許証自主返納支援事業費において、高齢者の情報を介護高齢課と共有し、地域包括支援センターを通じて、高齢者の不安や心配事を軽減する体制を構築した。これにより、財源として国庫補助金を確保することができた。

利用する高齢者の方の情報を地域包括支援センターと共有することで、財源も得られ、細やかな対応もできるようになりました。

《歳入確保効果額》

1,345,585円／年



高齢者運転免許証
自主返納支援事業



高齢者特殊詐欺
被害防止対策費

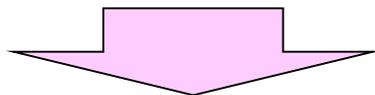
③ アプリの導入等による事務の見直し (子ども総合センター)



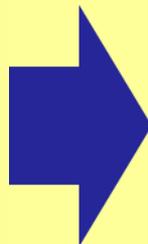
本物力こそ桑名力

障害福祉サービス利用児に対する事務について、以下の見直しにより、歳出予算を削減した。

- ① 保護者への連絡方法について、無料の連絡網アプリを活用することで、郵便料を削減。
- ② 受給者証の交付について、年2回行っていたが、年1回に見直すことで、郵便料及び、その他事務経費を削減。



《歳出削減効果額》
113,394円



アプリで連絡が来るから
どこでも確認できて、
便利になった。

従来の郵送から、アプリを導入することで、利用者の利便性を向上させつつ、経費の削減を行った。

**「がんばり“見える化”予算」は、
令和6年度当初予算反映分等としては、
令和4年10月から令和5年9月までを
取組の対象期間とします。**

**小さな「改革」でも結構ですので、
現状維持に縛られることなく、
「まずはやってみよう」という考え方のもと、
ぜひ“一歩前へ”と
踏み出していただくようお願いいたします。**